

日本学術会議 経済学委員会 経済学分野の参照基準検討分科会（第4回）
議事要旨

日時 2013年6月24日（月）13:00-15:00

場所 日本学術会議5階 5-C(1) 会議室

出席者 岩本委員長、奥野副委員長、多和田幹事、岡崎委員、小西委員、宮川委員
（欠席 池尾委員、筒井委員、久本委員、広田委員）

資料

資料1. 前回議事要旨

資料2. 岡崎委員からの報告資料

資料3. 多和田幹事からの報告資料

資料4. 大学教育の分野別の質保証のための教育課程編成上の参照基準について
一趣旨の解説と作成の手引き一

資料5. 参照基準の作成について

資料6. 経済学分野の参照基準（第一次素案）

資料7. 大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準家政学分野

議題

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回の議事要旨の確認を行い、特に意見がなかったためこれを議事要旨とした。

2) 岡崎委員からの報告

岡崎委員から資料2に基づいて、アメリカにおけるスタンフォード大学とハーバード大学の経済史の教育の紹介を中心にして、経済史の教育の状況について報告がなされた。その後、本検討委員会として経済史をどのように位置づけるかについて意見交換が行われた。主な意見は以下の通りである。

- ・日本で経済学史を扱う場合、日本経済史と欧米の経済史の2本立てとなるのか、経済史でも現在に近い時期を扱えば日本経済論で補えるのではないか
- ・経済史を基礎科目として扱う場合、学者の多くが専門領域に特化しているので教えられる人がどのくらいいるのか
- ・標準的なテキストとしての経済史の内容が確立していないが、一般的に広く受け入れられる内容のコンセンサスができるかどうか
- ・経済史を取り入れる場合、数量的な経済学を避ける、あるいはそれらのアンチテーゼとしてのネガティブな位置づけと、ミクロ・マクロ経済学をもとにして、経済史を扱うというポジティブな面がある。また、経済史と経済制度と関連が深いので経済制度との関連をどのよ

うにするか

- ・経済史を基本科目として扱うよりは、ミクロ経済学やマクロ経済学を習得した上で、数量的な分析も視野に入れて経済史を講義することが考えられる

3) 多和田幹事からの報告

多和田幹事から資料 3 に基づいて、経済学の目的、分野、教育、授業形態等についての報告があった。その後、意見交換が行われ、以下のような意見が出された。

- ・経済学の関連分野の科目の取り扱いは参照基準で取り上げる範囲外であるので、言及する必要はないのではないか
- ・日本では教員の講義負担が重いので講義内容が希薄になりやすいということは参照基準で触れられないか
- ・TAを使った少人数教育は大学院生が十分に確保できない大学では難しいのではないかと、ただし近隣に大学院生を多く抱える大学があれば、そのような大学の協力で可能かもしれない、大学院生にとってもティーチングの経験になるので好ましい

4) 参照基準の作成について

岩本委員長から資料 4 から 7 に基づいて経済学分野の参照基準作成についての今後の方針が示された。特に資料 5 において作成上の留意点が項目別に提示され、作成に当たってはこれらの点を踏まえて作成していくこと、今後のスケジュールとして参照基準の作成について 9 月を当面の目標として行い、12 月にシンポジウムを行う予定であることが提案され、これを了承した。なお、シンポジウムの後援を関係する学会に呼びかけていくかは今後検討していくこととした。

引き続き、奥野副委員長から資料 6 に基づいて、経済学分野の参照基準（第一次素案）の説明がなされた。その後、経済学の目的をどのように定めるかについての意見交換が行われ、以下のような意見が出された。

- ・ロビンズの定義に基づいた「希少な資源をどのように配分するのか」という定義はミクロ的な性格が強く、マクロの視点が弱い様に思われるが、現代のマクロ経済学はミクロ的な行動の基礎に立っており、希少な資源の効率的配分のための経済政策としての意義もあるため経済学全体の目的としてよいのではないかと意見がマクロ経済学の側からも出された。
- ・(2)a の分野に固有な能力に関して、日本の経済学教育は理論偏重であり、データから読み取る能力が不足しているため、現実のデータや制度を理論に関連付ける教育やデータから現実の経済を読み取るための教育を強調してはどうか、経済学は経営学と違って数学化の度合いが大きい。過去の事実を引きずられる経営学よりは経済学の方が構想力をより養える。

最後に岩本委員長から、資料 6 の文案については、委員全員にメールで配信して意見を求めるようにしたいと提案があり、これを了承した。

5) その他

次回の検討会の開催日は後日、日程調整によって決めることとした。